

ボラセン掲示板

～ボランティア団体紹介～

ボランティア団体名：青森県点訳・音訳・デージー編集赤十字奉仕団

青森県視覚障害者情報センターには、点訳・音訳などのボランティアが県内に250名ほどいらっしゃり、「青森県点訳・音訳・デージー編集赤十字奉仕団」様は、最も大きい分団となります。視覚障害者の福祉に理解のあるボランティアの方が福祉と読書環境向上のため、日々活動しております。



ボランティアを始めたきっかけは、「人の役に立つことがしたい」「退職、子育てが一段落し、時間に余裕が出来たから」「友人が先に活動をしていて勧められたから」「読書や朗読が好きだから」など様々です。

活動を続けられる理由には、「自分が音訳をした作品を通して本のすばらしさを伝えることができて、やりがいと達成感がある」「点訳は難しくなかなか覚えられなかったり、間違えて挫折しそうになるが仕上げた時の充実感は最高!」「デージー編集は、いろいろな本の編集をするので、視野が広がった気がします」など、奉仕活動から得られる充実感、達成感、知る喜びを感じて、皆さん長きにわたり活動を続けています。



音訳作業のようす

点訳とは…文字を点字に翻訳します。デージー編集とは…センターから音源を受け取り、パソコンで書名や目次等を打ち込み、雑音の除去・音量調整を行い録音図書に編集します。

音訳とは…文字を音声に訳します。

養成講習会のご案内

令和5年度音訳奉仕員養成講習会・点訳奉仕員養成講習会について
視覚障害者の福祉に理解と熱意を有する方を対象に、各種講習会を実施いたします。参加してみませんか?
※申込み期日：令和5年5月8日(月)
お問い合わせ・お申込みは「青森県視覚障害者情報センター」へお願いします。【TEL】(017)-782-7799



「点字教室」「手話教室」「手話通訳者養成講座」の実施について
青森市総合福祉センターでは、点字教室・手話教室を実施しています。また、手話通訳の資格取得を目的にする手話通訳者養成講座も実施しています。ご興味のある方は、下記の問い合わせ先へお問合せ下さい。
お問い合わせ・お申込みは「青森市総合福祉センター」へお願いします。【TEL】(017)-722-4517



Zoomオンライン研修会 「令和4年度民間福祉施設職員研修会」並びに 「2023 体験ボランティア説明会」を開催しました!

◆開催日 令和5年3月6日(月)

令和5年3月6日(月)に民間福祉施設職員の方々を対象として、今年度は「令和4年8月豪雨災害を体験して～災害時の対応・BCP作成のためのヒントとして～」をテーマに研修会を開催しました。実際に豪雨の被害を受けた特別養護老人ホームさくらの里 施設長 高橋氏、特別養護老人ホーム鶴のまどい 管理者 渋谷氏、幼保連携型認定こども園舞戸保育所 園長 吉田氏にお話をいただきました。参加者からは「事前に計画を策定し計画に基づいた訓練しておくことの必要性を感じた」などの感想をいただき、大変有意義な研修会となりました。

参加者からの質問と回答

- Q. 豪雨被害時、有事の際、不穏状態となる利用者がいましたら、どのように対応したのか教えていただきたいです。
◆さくらの里 高橋施設長の回答
緊急避難であったので入居者にとっては驚きと不安があったと思います。職員の動作が利用者につながりますので、安心させるためにも落ち着いた行動と、これから何をやるのか十分声掛けをすることが大事かと思っております。当施設では、比較的穏やかな方が多く、この度の避難では急変する方がおりました。
- Q. 夜間支援が必要ない分、職員を自宅にいったん帰宅させることが出来たことなど職員の負担を軽減できましたか?
◆舞戸保育所 吉田園長の回答
16時には職員全員を帰宅させましたが、通常の退勤時間に近い時間だったものの、避難対応にかかるストレスなどを考慮すると負担の軽減につながったと思います。ただ、浸水地域に住居がある職員はもっと早い時間に優先的に帰宅させるべきでした。帰宅してから浸水するまで、あっという間に荷物の移動など十分に対応できなかったようです。

BCPとは…自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において事業資産の損害を最小限にとどめ、事業の継続あるいは早期復旧を可能とするための手段を取り決めておく計画のことです。



ボランティアセンター NEWS

2023. 春号

編集/発行
社会福祉法人 青森市社会福祉協議会
青森市本町 4-1-3
TEL 017-723-1340
FAX 017-777-0458



体験ボランティア活動者さんへ聞きました!!

青森市内の大学へ通われている大橋さんと小笠原さんにボランティア活動についてお話を伺いました! お二人は、学業などの合間をぬってボランティア活動を行っており、学生ポイント制度も利用されています。体験ボランティアでは、多くの活動者の方が「視野を広げてみたい」「いろいろな人と関わりたい」「人の役にたきたい」「将来やってみよう職業を体験してみたい」など、様々なきっかけで登録をされています。みなさんも学業などの合間をみつけてぜひ、体験ボランティア活動に参加してみませんか? なお、ボランティア受入れ施設様からのご相談、ご要望もお待ちしておりますので是非お問合せ下さい。～「体験ボランティア」について、詳しくは中面をご覧ください～

Q. 「体験ボランティア」へ登録したきっかけは?

学校内の学生が共通して閲覧することが出来るサイトで、やってみたい活動があり、活動にあたり事前に体験ボランティアへ登録することが条件となっていたので、まずは登録してみました。

Q. 実際にボランティア活動をしてみてどうでしたか?

障がい児のデイサービスセンターでボランティア活動をしたのですが、子どもたちの課題の見守り、遊び相手、排泄の見守り・援助と時間帯によってやることが変わるので、大変でしたが貴重な体験となり勉強になりました。



大橋さん 小笠原さん

Q. 今後も続けてみたいですか?

学業の合間で時間が合えば、またやってみたいと思います。看護の勉強をしているので、同じ活動内容もまたやってみたいですが色々な経験を積むことで、将来に役立つと思うので、ほかの分野の活動などもやってみたいです。

Q. これから、ボランティアを始める方へ一言!!

実際に活動するまでは、うまくできるかなど不安もあると思いますが、活動を通して新しい知識が増え、達成感も得られると思います。1人では不安な方も友達と一緒に参加できたりするので、まずは気軽にやってみるといいですよ!

取材へのご協力ありがとうございました。今後も学業とボランティア活動をがんばってください!

体験ボランティアは皆様のご協賛により運営されています

プロクレアホールディングス
青森銀行

みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%

建設機械のリースと運搬
(有)三本木貨物運送

〒030-0131 青森市間屋町2丁目4-21
TEL(017)738-1121 FAX(017)738-3282

冷熱をデザインする
大青工業株式会社

〒030-0131 青森市間屋町1丁目9-30
TEL:017-738-2131 FAX:017-738-9333

企業の皆様、ありがとうございます

雪対策事業



今年度も昨年度同様に断続的な降雪に見舞われ、青森市では積雪量が令和5年1月31日に1mを超え、豪雪対策本部が設けられました。2月5日には今季最高となる103cmとなり、市民の方から雪処理に関するご相談が多く寄せられました。

屋根の雪下ろし奉仕活動

積雪量が1mに達した際、青森市社会福祉協議会では高齢者、障がい者世帯に対して屋根の雪下ろし奉仕活動をボランティア協力団体の方々と実施しております。

【活動者】
三菱電機ビルソリューションズ(株)青森支店 4名
AMEんVO 8名
※敬称略、順不同



高齢者世帯除雪奉仕活動

地域貢献活動として、中学校生徒による高齢者世帯の除雪奉仕活動を実施しました。活動を通して、思いやりの心と連携し助け合う力を養うことを目的としており、ボランティア協力団体の皆さまと協力して除雪活動を行いました。



【活動者】
青森市立戸山中学校(ボランティア推進校) 25名
陸上自衛隊青森駐屯地曹友会 25名
個人ボランティア 3名
※敬称略、順不同



【活動者】
青森市立西中学校 22名
(株)プロクリアホールディングス野球部 19名
個人ボランティア 3名
※敬称略、順不同

今冬も皆さまのご協力ありがとうございました。

「ボランティア」に関する情報、ボランティア活動者登録・ボランティア活動申込みは、ホームページで出来ます!

<https://www.aomoricity-shakyo.or.jp/vlunteer>



青森市ボランティアセンター 検索

「青森市ボランティアセンター」ホームページはこちらの二次元コードからGO!!

パソコン操作の苦手な方は、ボランティアセンター窓口で登録・申込みが出来ますので、お気軽にお問合せください。

2023 体験ボランティア



「いつでも、どこでも、誰でも、気軽に、そして楽しく参加できる」
体験学習として青森市ボランティアセンターが実施している体験ボランティアボランティア活動ができる方なら、どなたでも参加できます。また、活動登録をした方は、自動でボランティア活動保険へ加入となり、安心して活動が出来ます。まずは、ボランティア登録をして体験ボランティアで活動に参加しよう!



青森市ボランティアセンターホームページには、ボランティア情報がいっぱい!!
ぜひ、一度ご覧ください。

「体験ボランティア」一部のメニューご紹介!! この他にも様々な募集メニューがあります。

【障がい児・者関係】
【団体名】 児童発達支援放課後等デイサービスぱぷりか
【活動内容】 障がい児(幼児)の遊び相手、課題の見守り、排泄の見守りや援助など。おやつ、昼食準備のお手伝いなどをお願いします。

【高齢者関係】
【団体名】 デイ和幸 東青森
【活動内容】 デイサービスの利用者と園芸活動や趣味活動と一緒にいきます。特技のある方を募集しています。

【その他】
【団体名】 リユース・Books
【活動内容】 アウガ6階リユースボックスにて市民から寄贈された不要な本を小額な手数料で再利用していただき、子どもの読書推進に役立てるためのお手伝いをしていただきます。

はじめは自分に出来るか不安だったが、空いた時間を利用して、人の役に立つことができて良かったです

将来やってみたい職業をボランティア活動で体験できて、とてもいい経験になりました

体験ボランティア活動者登録をすると、ボランティア活動を1日単位でお申込みいただけます。
※新型コロナウイルス感染症等の影響により活動をお断りする場合がございますので、ご了承ください。

HOP! STEP! JUMP!

「2023 体験ボランティア」学生ポイント制度

友達を誘って参加してみよう!

青森市内の高等学校生徒・大学生・専門学生へボランティア活動参加への動機付けと活動意欲の高揚、継続性を図るため、「体験ボランティア」活動を通じた学生ポイント制度を導入しています。

- 実施期間** 令和5年4月1日 ~ 令和6年2月末日まで
- 実施要件** 実施期間中に「体験ボランティア」の活動メニューを行うことで、1回の活動につき1ポイント獲得できます。5ポイント獲得した方は、ポイントカードを青森市社会福祉協議会窓口にて提出することで図書カード(1000円相当分)と引換えることが出来ます。

参加お申込みについては、青森市ボランティアセンターホームページ、または窓口にて受付しております。

「使用済み切手」収集ボランティア活動を再開します!!

使用済み切手の仕分け・整理のボランティア活動を令和5年4月より再開させていただきます。
毎月第2・第4金曜日(祝日はお休み)に実施いたします。4月は、14日と28日です。

- 【活動内容】** 使用済み切手を慈善団体へ寄贈するため、回収出来るもの、回収出来ないものの仕分け、規定のサイズに合うよう余白をハサミで処理する作業を行っていただきます。
- 【活動対象者】** 小学生・中学生・高校生・大学生・短大生・専門学生・会社員・主婦・主夫・高齢者・障がい者
- 【活動申込み方法】** 活動を希望する方は事前に、「青森市社会福祉協議会」Tel(017)723-1340へご連絡、または青森市ボランティアセンターホームページの「体験ボランティア」→「募集要項」より活動申込みをお願いします。
- 【活動場所・日程】** 青森市福祉増進センター(しあわせプラザ)2階研修室 毎月第2・第4金曜日
☆ 新型コロナウイルス感染症等の影響により、急遽、中止となる場合がございますのでご了承ください。